

## 43年間の清掃活動に幕 人吉市中神町清掃組合へ感謝状贈呈

下水処理施設「人吉浄水苑(中神町字城本)」の清掃業務を43年間担ってきた人吉市中神町清掃組合。令和7年度末で解散し業務を終えることから、市は同組合に感謝状を贈りました。

3月24日に市役所で贈呈式を行い、同組合代表の城本直利さんのほか組合員4人が出席。松岡市長はこれまでの功労に対し「長きにわたりありがとうございます。大変なこともあったが、人とのつながりができた。さみしさはあるが、高齢化も踏まえての決断」と振り返りました。



昭和57年の同施設操業開始から清掃業務を担ってきた

## 親子で汗流し運動不足解消 親子でプチ運動会ウインターカップ2026

親子で楽しく体を動かし冬の運動不足を解消してもらおうと、プチ運動会が2月22日、人吉東小体育館で開催されました。市子ども会育成連絡協議会の事業の一環で活動するジュニア・リーダークラブ「シンフォニー」が企画したものです。

親子で障害物リレーなど4種目に挑み、ボール運びリレーで会場は一番の盛り上がり。落ち着いてボールを着実に運ぶ大人に、俊敏な動きで懸命に食らいつく子どもたち。会場には歓声が響き、白熱した戦いが繰り広げられました。



市内に住む小学生とその保護者約30人が参加

## 種駒打ちにたこ揚げ楽しい！ 草木山川学校(春版)

野外体験を通じて子どもたちの生きる力と郷土愛を育もうと、3月14日に田野活性化センター周辺で「草木山川学校・春版」を開催しました。市と市中央公民館が小学2年生を対象に年2回実施しているもの。

親子や関係者ら約50人が参加し、シイタケの種駒打ちや手作りたこ揚げを体験。昼食には住民手作りのおにぎりや豚汁に舌鼓を打ち活動を満喫していました。人吉東小の柳瀬楓さんは「シイタケは嫌いだ、種駒を打つた木で収穫できたら頑張ってたべてみる」と話していました。



1本のクヌギの木に約20～30個の種駒を打った

## 花の便りに誘われて 第47回人吉梅まつり

梅の花をめでながら早春を感じてもらおうと、2月22日(3月1日)に人吉梅園(上漆田町)で人吉梅まつりを開催しました。

初日にはステージイベントを実施。会場には、約3千人が来場し、花を眺めながら和太鼓や第三中生による創作舞踊「梅娘」といった伝統芸能を楽しみました。地元の狩猟者らによる鹿ステッキやシシ汁などの郷土料理をはじめ、各事業者の出店も実施。初めて来たという松永英樹さんは「梅の花を見ながらリフレッシュできる空間だった」と満喫していました。



同園には約8畝の土地に約4600本の梅を植樹

## 20周年をにぎやかにお祝い！ 九ちゃんクラブファミリー講座



会場には「キャッキョウ」と笑う子どもたちの笑顔があふれた

カルチャーパレス2階にある子育て広場「ほっとステーション九ちゃんクラブ」の20周年記念講座が3月8日、西瀬コミセン体育館で開催されました。22組約70人の親子が参加。

講座では、触れ合い遊びやハイハイレースなど多彩な催しを開催。最後は全員でダンスや歌を楽しみ、会場は温かい笑顔と祝福に包まれました。同クラブを運営する人吉球磨陽だまりの会代表の井手桂子さんは「多くの家族に楽しんでもらえよかったです。新年度も新しい出会いが楽しみです」と笑顔を見せていました。



九ちゃんクラブにあるおもちゃなどで遊ぶ時間も

## 新装の大会議室に歌声響く 中原校区公民館スプリングコンサート

老朽化に伴い中原校区公民館(コミセン)大会議室の床が初めて改修され、完成を記念したコンサートが開催されました。

公演は2部制で、「歌う醤油屋さん」として知られるテノール歌手の馬場貞至さんから4人が出演し、息の合った演奏と歌声を披露。「さくら」や「フニクリ・フニクラ」など全13曲が演奏され、最後は「ふるさと」を観客と斉唱し会場を一体にしました。内谷孝一館長は「豪雨災害からの復興はまだ道半ば。一日も早く以前のにぎわいが戻ってほしい」と願っていました。



地域住民ら約250人が来場し、新しくなった床の完成を祝った

## 住民とボランティアの力で継続 田野高原野焼き

草原保全を目的に春の風物詩である田野高原(美晴山)野焼きが3月8日に行われました。

高齢化による人手不足で、継続困難な状況でしたが、高橋酒造株式会社(合ノ原町)の応援もあり、社員や消防団、ボランティアなど約70人が参加。枯草に点火されるとオレンジ色の炎が草原を2時間ほどで焼き尽くし、見学に訪れた人たちは迫力ある炎をカメラに収めていました。

田野高原美晴会の元田宗治会長は「伝統行事が多く、ボランティアの力でスムーズに進んだ」と感謝していました。



炎が草原をバチバチと音を立て駆け巡り、一面を黒く染めた